第579回川崎医学会講演会

日時：令和 8年3月9日（月） 16：45～17：45
場所：図書館小講堂　　座長：遠藤　俊治

「消化器外科医として勤務した40年，その歴史と未来を語る
― 後進の外科医，研究者に対するメッセージ ―」

川崎医科大学 消化器外科学 特任教授
藤原 由規 先生

3つの医科大学で、診療、教育、研究の業務を担当してきた。消化管二重造影法を確立させた白壁彦夫先生からは、診断学の基本、画像診断と病理標本の対比の重要性を学んだ。食道がんの権威の幕内博康先生からは直接手術指導を受けた。　今回、私がこれまでにやり遂げた研究、診療についての概略を解説し、最後に後進に対するメッセージを加える。

※総合医療センターにてTV会議システムを介して参加をご希望される方は
　3月2日（月）までに医学会講演会HPの予約フォームよりご予約ください。
※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課（大学院）へ問い合わせてください。

お問い合わせ先：川崎医学会講演会担当内線：26035・26036

《皆様のご来聴お待ちしております》